

松下 晴彦

職位 特任教授

研 究 業 績 2023年4月1日現在

著書・論文等の区分	著書・論文等の名称、発行所・発表雑誌・学会等の名称、共著の場合の編者・著者名、該当頁数	発行・発表年月
著書（単）	『<表象>としての言語と知識—人間形成の基礎的地平—』風間書房	1999年2月
著書（編著）	『教育原理を組みなおす—変革の時代を超えて』、名古屋大学出版会、（共著者 伊藤彰浩、服部美奈他）	2021年11月
著書（共）	「第7章「分析哲学」」、『新版教育哲学原理』、田浦武雄編、川島書店、（共著者 田浦武雄、甲斐進一、早川操他）	1986年2月
著書（共）	「第1部人間性と教育 第5章「言語行為としての知識」」、『教育哲学の諸問題』、堀内守編、名古屋大学出版会、（共著者 堀内守、小柳正司、早川操他）	1986年3月
著書（共）	「第2章 自己教育力と個性」、『シリーズ教育の間 第5巻 学力と個性の間』、加藤幸次編、ぎょうせい、（共著者 加藤幸次、浅沼茂他）	1989年12月
著書（共）	「第3章 1 伝統主義、2 進歩主義、5 分析哲学」、『教育の本質と目標』、平光昭久、甲斐進一編、共同出版	1991年4月
著書（共）	「第4章 現代の分析哲学と教育 2 分析哲学の動向と可能性」、『アメリカ教育哲学の動向』、杉浦宏編、晃洋書房	1995年6月
著書（共）	「共同化への戦略的思考」、『生きる力を育てる新しい授業 第1巻 新しいパラダイムによる授業の創造』、加藤幸次編、教育開発研究所	1997年7月
著書（共）	「情報化の進展と『生きる力』を育てる授業」「自己教育力を育てる」、『生きる力を育てる新しい授業 第5巻 多様化への対応する授業』、加藤幸次編、教育開発研究所	1998年3月
著書（共）	「総合的学習に体験はなぜ必要か」、『総合的な学習のカリキュラムをつくる』、浅沼茂編、教育開発研究所	2000年3月
著書（共）	「第9章 明日への展望とデューイ 第2節「デューイ思想の再形成」」、『現代デューイ思想の再評価』、杉浦宏編、世界思想社	2003年5月
著書（共）	「教師の教育哲学と総合的な学習のねらい」、『総合的な学習ハンドブック』、児島邦宏編、ぎょうせい	2003年6月
著書（共）	「第1章5「習熟度別指導・少人数指導とデューイの実験学校」」、『習熟度別指導・少人数指導』、浅沼茂編、教育開発研	2004年6月

	研究所	
著書（共）	「第Ⅰ部 第４章「価値の相対化と道徳教育」、『新しい教育の原理－変動する時代の人間・社会・文化－』、今津孝次郎・馬越徹・早川操編、名古屋大学出版会	2005年3月
著書（共）	「第１章「少人数指導の歴史と現在：一人ひとりの学びを育む少人数指導の勧め」、『一人ひとりの学びを育む少人数指導のマネジメント』、浅沼茂編、教育開発研究所	2006年4月
著書（共）	「5.「論理的思考力と仮説的推論」、『活用型学習をどう進めるか』、浅沼茂編、教育開発研究所	2008年6月
著書（共）	「5.「論理的思考力を育てる探究型学習」、『探究型の学習をどう進めるか』、浅沼茂編、教育開発研究所	2008年8月
著書（共）	「第13章 道徳教育の課題と可能性」、『教育と学びの原理－変動する社会と向き合うために－』、早川操・伊藤彰浩編、名古屋大学出版会	2015年7月
著書（共）	「意味論－「未来の帰結」としての意味の探究」、『プラグマティズムを学ぶ人のために』、加賀裕郎、高頭直樹、新茂之編、社会思想社	2017年
著書（共）	「第Ⅲ部 カリキュラム研究の方法 「第1章 カリキュラムの哲学的研究」、『現代カリキュラム研究の動向と展望』、日本カリキュラム学会編、教育出版	2019年
著書（共）	「第11章 『民主主義と教育』における自然化された論理学と形而上学」、『民主主義と教育の再創造－デューイ研究の未来へ』、日本デューイ学会編、勁草書房	2020年
論文（単）	「教育における『知識』概念の研究」－『知ること』の哲学的分析を中心として－『名古屋大学教育学部紀要』第29巻	1983年3月
論文（単）	「教育的認識における『説明』について」『名古屋大学教育学部紀要』第30巻	1984年3月
論文（単）	「科学的探究における『説明(explanation)』概念について－C.G.ヘンペルトI.シェフラーの説明概念の分析を手掛かりとして－」『日本デューイ学会紀要』（日本デューイ学会）第25号	1984年6月
論文（単）	「言語の分析とその理解について－教育の言語論（その1）－」『名古屋大学教育学部紀要』第31巻	1985年3月
論文（単）	「真理の意味に関する一考察－真理対応説を中心にして－」『日本デューイ学会紀要』（日本デューイ学会）第26号	1985年6月
論文（単）	「概念(concept)の用法についての一考察」『日本デューイ学会紀要』（日本デューイ学会）第29号	1988年6月

論文（単）	「コールバーグ道徳理論哲学的基盤」ーメタ理論（科学哲学的批判ー）『日本デューイ学会紀要』（日本デューイ学会）第30号	1989年6月
論文（単）	「アメリカにおける歴史教育と道徳教育の統合ー価値観形成のための教材例ー」『比較教育学研究』（日本比較教育学会）No. 15	1989年6月
論文（単）	「G. ライル、『心の概念』における〈カテゴリー〉について」『椋山女学園大学研究論集』第21号	1990年2月
論文（単）	「現代英米哲学における認識的相対主義と客観主義」『椋山女学園大学研究論集』第22号	1991年2月
論文（単）	「Knowing and the Known におけるデューイとベントリーの言語観」『日本デューイ学会紀要』（日本デューイ学会）第33号	1992年6月
論文（単）	「D. デイヴィッドソンの解釈理論」『椋山女学園大学研究論集』第25号	1994年2月
論文（単）	「教育学研究における〈言語哲学〉の限界と可能性」『椋山女学園大学研究論集』第26号	1995年3月
論文（単）	「デューイの言語哲学」『日本デューイ学会紀要』（日本デューイ学会）第36号	1995年6月
論文（単）	「教育における〈学習〉と〈探究〉のジレンマ(2)」『椋山女学園大学研究論集』第28号	1997年3月
論文（単）	「表象としての〈他者〉とアイデンティティの形成・炸裂ーポストコロニアル言説からの示唆ー」平成7~8年度科学研究費補助金（基盤研究(A)研究成果報告書）「グローバル化時代における学校カリキュラムの再編に向けてのデータベース開発」	1998年3月
論文（単）	「多文化教育における〈差異〉と〈承認〉」『椋山女学園大学研究論集』第29号	1998年3月
論文（単）	「〈表象〉としての教科書の淵源ー知の視覚化とその周辺ー」『椋山女学園大学研究論集』第30号	1999年3月
論文（単）	「学校論を検討するための枠組みの問題について」『教育哲学研究』（教育哲学会）第81号	2000年5月
論文（単）	「デューイの論理学における『判断』と『命題』」『日本デューイ学会紀要』（日本デューイ学会）第41号	2000年6月
論文（単）	「アメリカの公立リサーチ・ユニヴァーシティにおける大学院教育の歴史的展開と課題ーウィスコンシン大学の事例を中心にー」平成12（2000）年度大学院重点化特別経費報告書、「大学院教育プログラムの多様化とその課題ー大学院高度化に伴	2001年3月

	う多様化した大学院教育プログラム開発に関する研究報告書 ー」	
論文（単）	「デューイの自然主義的形而上学」『日本デューイ学会紀要』 （日本デューイ学会）第42号	2001年6月
論文（単）	「デューイの論理学における形式概念について」『日本デュー イ学会紀要』（日本デューイ学会） 第43号	2002年6月
論文（単）	「教育的関係の神秘性とリアリティ」『近代教育フォーラム』 （教育思想史学会）第11号	2002年9月
論文（単）	「英米の教育学研究における社会構成主義とその認識論的諸 問題」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要』第49巻 第1号	2002年9月
論文（単）	「21世紀型の学校教育ーアメリカのチャータースクールの現 状と課題」『アメリカ教育学会紀要』（アメリカ教育学会）第 16号	2005年9月
論文（単）	「米国の教育哲学研究の動向にみる認識論的多様性と客観 性の諸問題」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要』 第53巻 第2号	2007年3月
論文（単）	“The Reconstruction of School Knowledge” Collected Works on the First International Forum on Teaching Reform (Institute of Curriculum and Instruction, East China Normal University)	2007/05
論文（単）	“Strategy for Individual Instruction and Learning” Collected Works on the First International Forum on Teaching Reform (Institute of Curriculum and Instruction, East China Normal University)	2007/05
論文（単）	“Philosophical Perspective for Teachers and the Aims of Integrated Learning” Collected Works on the First International Forum on Teaching Reform (Institute of Curriculum and Instruction, East China Normal University)	2007/05
論文（単）	「デューイ論理学における『自然化されたヘーゲル』」『日本デ ューイ学会紀要』（日本デューイ学会）第48号	2007年10月
論文（単）	“On Some Aspects of Learning Experiences: Acquisition Model, Participation Model and Inquiry Model,” Collected Papers on The International Symposium on Curriculum Reform and Social Progress (Institute of Curriculum and Instruction, East China Normal	2007/10

	University)	
論文(単)	「19世紀のミシガン大学とジョン・デューイ」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要』第54巻 第2号	2008年5月
論文(単)	「ジョン・デューイの中等教育観」『中等教育研究センター紀要』(名古屋大学大学院教育発達科学研究科附属中等教育研究センター)第8号	2008年3月
論文(単)	「ジョン・デューイの中等教育のカリキュラム原理」『アメリカ教育学会紀要』(アメリカ教育学会)第19号	2008年11月
論文(単)	「『統一性』の希求と『方向性なき成長』不安－ヘーゲルの残滓と進化論的自然主義－」『日本デューイ学会紀要』(日本デューイ学会)第50号	2009年10月
論文(単)	「デューイ教育学における『カリキュラムの再構築』－方法と題材の統一－」『中等教育研究センター紀要』(名古屋大学大学院教育発達科学研究科附属中等教育研究センター)第10号	2010年3月
論文(単)	「台湾における小・中一貫の英語教育の現状と課題」『中等教育研究センター紀要』(名古屋大学大学院教育発達科学研究科附属中等教育研究センター)第10号	2010年3月
論文(単)	「デューイ教育学における『カリキュラムの再構築』－方法と題材の統一－」『中等教育研究センター紀要』(名古屋大学大学院教育発達科学研究科附属中等教育研究センター)第10号	2010年3月
論文(単)	「研究大学におけるEd.D.プログラムの意義－名古屋大学『教育マネジメント』の事例－」『名古屋大学高等教育研究』(名古屋大学高等教育研究センター)第10号	2010年4月
論文(単)	「初期デューイ思想における個と普遍」『近代教育フォーラム』(教育思想史学会)第19号	2010年9月
論文(単)	「デューイ哲学における『永遠のヘーゲルの残滓』－初期デューイ思想とヘーゲル主義－」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要』第57巻 第2号	2011年3月
論文(単)	「初期デューイ哲学における倫理的観念論と機能主義的論理学」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要』第58巻 第1号	2011年10月
論文(単)	「パーリントン哲学とジョン・デューイ」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要』第59巻 第1号	2012年10月
論文(単)	「19世紀アメリカ教育思想黎明期におけるヘーゲル主義－セントルイス哲学協会の運動を中心に－」『アメリカ教育学会紀要』(アメリカ教育学会)第23号	2012年10月
論文(単)	「『生活様式としての民主主義』の倫理とその可能性」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要』第60巻 第1号	2013年9月

論文（単）	「デューイ哲学における自然主義化されたヘーゲル」『日本デューイ学会紀要』（日本デューイ学会）第54号	2013年10月
論文（単）	「デューイの道具主義的論理学」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要』第61巻第1号	2014年10月
論文（単）	「1903年から1915年のデューイによるヘーゲル解釈とその批判」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要』第61巻第2号	2015年3月
論文（単）	「グローバル化と新自由主義的統治の時代における批判的教育学の可能性」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要』第62巻第1号	2015年10月
論文（単）	「現代アメリカ教育思潮の変遷と展望－政治哲学・文化政治学・教育政策からみるアメリカ教育の動向」『アメリカ教育学会紀要』（アメリカ教育学会）第26号	2015年11月
論文（単）	「ジョン・デューイの哲学的方法とヘーゲルの痕跡」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要』第63巻第1号	2016年10月
論文（単）	「進歩主義時代のユニヴァーシティとカレッジ」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要』第64巻第1号	2017年10月
論文（単）	「初期デューイ論理思想とヘーゲル」『日本デューイ学会紀要』（日本デューイ学会）第58号	2017年10月
論文（単）	「20世紀初頭のアメリカにおける研究促進体制の形成とその役割」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要』第65巻第1号	2018年10月
論文（単）	「日本における翻訳実践の淵源をめぐる系譜学的考察」『教育学研究』（日本教育学会）第86巻第2号	2019年6月
論文（単）	「デューイ『ヘーゲル講義』にみる自然化された精神哲学」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要』第67巻第2号	2021年3月
論文（単）	“Dewey’s Conception of Democracy as a Mode of Associated Living” 『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要』第68巻第2号	2022年3月
論文（単）	「言語と思想の探究－人間形成学の基礎的研究」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要』第69巻第2号	2023年3月
論文（分担執筆）	「教育的美学論」、「教育の人間化に対応する教育過程論の研究」、『名古屋大学教育学部紀要』、第28巻（共著者 田浦武雄）	1982年3月
	VI「道徳的発達の立場」、VIII「社会的価値のためのロール・プレイング」、「現代における価値教育論の比較研究（その三）」、『名古屋大学教育学部紀要』、第31巻（共著者 田浦武雄）	1985年3月

	「現代の高校生における友人関係の捉え方」、『中等教育研究センター紀要』（名古屋大学大学院教育発達科学研究科附属中等教育研究センター）、第8号（共著者 岩瀬真寿美、奥田彩海）	2008年3月
	「これからの教育哲学を考える」、『教育哲学研究』（教育哲学会）、第97号（共著者 丸山恭司）	2008年6月
	「デューイとの対話ーデューイ的思索の過去・現在・未来ー」、『教育哲学研究』（教育哲学会）第101号（共著者 早川操、生澤繁樹）	2010年6月
翻訳（共）	M.W. アップル著『教育と権力』日本エディタースクール出版部（共訳者 浅沼茂）	1992年3月
翻訳（共）	M.W. アップル編『批判的教育学事典』明石書店（共訳者 安彦忠彦他編）	2017年
書評	「書評 松下良平著『知ることの力』勁草書房」、『近代教育フォーラム』（教育思想史学会）第22号	2013年10月
書評	「書評 小笠原喜康著『Peirce 記号論による Visual 記号の概念再構成とその教育的意義』紫峰図書、平成15（2003）年」、『教育学研究』（日本教育学会）第72巻第1号	2005年3月
書評	「書評 加賀裕郎著『デューイ自然主義の生成と構造』晃洋書房、平成21（2009）年」、『教育哲学研究』（教育哲学会）第102号	2010年11月
図書紹介	「図書紹介 山上裕子著『デューイの<教材>開発論とその思想』風間書房、平成22（2010）年」、『教育哲学研究』（教育哲学会）第103号	2011年
図書紹介	「図書紹介 藤本夕衣著『古典を失った大学ー近代性の危機と教養の行方ー』NTT出版『近代教育フォーラム』（教育思想史学会）第22号	2013年10月
図書紹介	「図書紹介 森田伸子編著『言語と教育をめぐる思想史』勁草書房、平成25（2013）年」『教育哲学研究』（教育哲学会）第111号	2015年5月
図書紹介	「図書紹介 苫野一徳著『学問としての教育学』日本評論社、令和4（2022）年」、『日本デューイ学会紀要』（日本デューイ学会）第64号	2023年
事典項目等	『現代学校教育大事典』奥田真丈、河野重男他監修、ぎょうせい、「論理学」「論理実証主義」「論理的思考」を執筆担当）	1993年8月
事典項目等	『現代カリキュラム事典』日本カリキュラム学会編、ぎょうせい、「事項「教育哲学とカリキュラム目標」「教育目的の源泉」執筆担当）	2001年2月

事典項目等	『比較教育学事典』日本比較教育学会編、東信堂、(事項「カルチュラル・スタディズ」執筆担当)	2012年
事典項目等	『現代アメリカ教育ハンドブック』アメリカ教育学会編、東信堂、(事項「ジョン・デューイ (John Dewey, 1959-1952)」執筆担当)	2010年10月
事典項目等	『教育思想事典(増補改訂版)』教育思想史学会編、勁草書房、(事項「社会構築主義(Social Constructionism)」を執筆担当)	2017年9月
事典項目等	『現代アメリカ教育ハンドブック(第2版)』アメリカ教育学会編、東信堂、(事項「ジョン・デューイ (John Dewey, 1959-1952)」執筆担当)	2021年10月
テキスト	『よくわかる高等教育論』橋本鉦市、阿曾沼明裕編、ミネルヴァ書房、(XIII 大学と社会・経済 「7 大学とエピステーマー」執筆担当)	2021年4月
海外招待講演	“Space Design for Learning Activity in Primary and Second School in Japan,” The International Conference on Integrated Curriculum of Practical Activity in Primary School, Shanghai, China	December, 2002
海外招待講演	“Some Strategies for Individualized Learning in an information age,” The First International Forum on Teaching Reform, Shanghai, China	May, 2007
海外招待講演	“On Some Aspects of Learning Experiences; Semi-Lattice, Tacit Learning, Qualitative Thought,” The ICI Famous Professors’ Forums, Shanghai, China	May, 2007
海外招待講演	“On Some Aspects of Learning Experiences; Acquisition Model, Participation Model and Inquiry Model,” International Symposium on Curriculum Reform and Social Progress, Hangzhou, China	October, 2007
海外招待講演	“Educational Divide in Japan; Polarization in Academic Achievement, Economic and Social Disparities,” International Conference on Balanced Development of Education and Society’s Progress, Ningbo, China	October, 2007
海外招待講演	“Democracy and Education in the Era of Social Transformation through Technological Innovation: What is Education for ?” International Conference on Current Issues in Education and Psychology, School of Arts and Sciences, National University of Mongolia	September 28, 2021
海外招待講演	“Problems for Young People in Japan,” International	December 20,

	Scientific and Practical Conference on Preparing Young People for Family Life, The Institute for Research of the Youth Problems and Training Prospective Personnel, Republic of Uzbekistan	2021
--	--	------

